

■【トピックス】  
ペントアップ需要！



高齢者のコロナウイルス・ワクチンの接種が進んできました。高齢者によってはワクチン接種を免罪符にして活発な行動を再開される人々も出てきそうです。世界では既にワクチン接種が進んで経済が回復している国もあります。

コロナ禍で抑えられていた需要が、爆発的に増加することをペントアップ (Pent-Up) 需要といいます。主には超富裕層と呼ばれる人々の需要が増加します。果たして日本でも起きるのでしょうか？

■【ビジネス・アイ】  
PCR検査費用！

- 社長 「コロナの収束がなかなか見えない中、自粛要請もきかないで通常営業を始める飲食店も出てきたね」
- 花野 「そうですね。協力金の支給も大幅に遅れているようですし、最初から要請をきかないお店もある中、やむを得ない面もありますね」
- 社長 「ワクチンも大企業からだから、うちとしては予防に徹するしかないと思っているよ」
- 花野 「社長の会社は、検温、消毒、パーテーションとキッチンと対策されていますよね」
- 社長 「それでも取引先では、コロナウイルス感染者が出ているという話はよく聞くんだよ」
- 花野 「私の周りでもよく聞きますね。監査クライアントだったり、事務所のビルでも出ましたね」
- 社長 「そこで、全社員を対象に定期的にPCR検査をやろうと思っているんだよ」
- 花野 「それはいいことですね。検査を定期的にするば安心感が生まれますね」
- 社長 「ということで、PCR検査の費用なんだけど、税務上は損金になるよね」
- 花野 「はい、会社の業務命令で行うPCR検査の費用は、業務のために通常必要な費用ということで税務上も損金になります」
- 社長 「それを聞いて安心したよ」
- 花野 「ただし、従業員が個人的な判断で受けた検査の費用を負担すると従業員の給与になります」
- 社長 「その点は気を付けるよ」

■【今月のキーワード】

感染予防対策費用

新型コロナウイルス感染症予防対策として企業が負担した①マスク、石鹼、消毒液、消毒用ペーパー、手袋などの消耗品の購入費、②従業員の自宅に設置する間仕切り、カーテン、椅子、机、空気清浄機などの備品の購入費、③感染が疑われる場合のホテル等の利用料・ホテルまでの交通費など、④PCR検査費用、室内消毒の外部への委託費用などは、業務のために通常必要な費用である限り損金の額にされます。それを超える部分は従業員に対する給与として課税対象となります。

■【今月の1冊】

『不寛容論』

森本 あんり 著

新潮選書 ¥1600

ここ数十年アメリカの分裂が続いています。しかし、本来のアメリカは宗教的な迫害を逃れた人々によって建国された国です。

建国当初の寛容の理念はいかに形作られたのか。一人の偏屈なピューリタンが筋金入りの寛容を生み出しました。その歴史をたどります。不愉快な隣人であってもその信仰には敬意を払う「礼節」の必要が説かれています。



■【編集後記】

高齢者へのコロナウイルス・ワクチン接種が進んでいます。当初はITに弱い高齢者には予約を取ることが難しかった予約も取れるようになりました。80代の両親も6月中に2回目の接種を掛かり付けの医院で無事に個別接種できました。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.172 (毎月1日発行)

●定価：2400円/年 ●発行日：2021.7.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808